

**製品名: エストロゲン受容体  $\alpha$  ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab01358**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,FC,IP,ChIP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,FC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50,ChIP 1:20
分子量	Calculated MW: 66 kDa; Observed MW: 66 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ESR1
別名	ESR1; Era; Eralpha; Estrogen receptor; Estradiol receptor; ER-alpha; Estrogen receptor 1; NR3A1; ER; ESR; ESRA; Estrogen receptor alpha
遺伝子 ID	2099
SwissProt ID	P03372
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

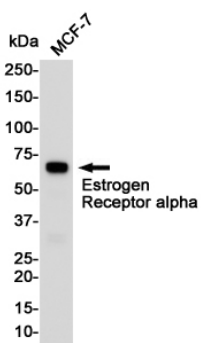
**背景**

ER (エストロゲン受容体1) はステロイド受容体スーパーファミリーに属し、高度に保存された DNA 結合ドメイン (DBD) とリガンド結合ドメイン (LBD) を有する。エストロゲン非依存性およびエストロゲン依存性活性化ドメイン (それぞれ AF-1 および AF-2) を介して、ER はコアクチベータータンパク質をリクルートし、転写機構全体と相互作用することで転写を制御する。リン酸化は ER 活性を制御する重要なメカニズムであり、ER は複数の部位でリン酸化される。

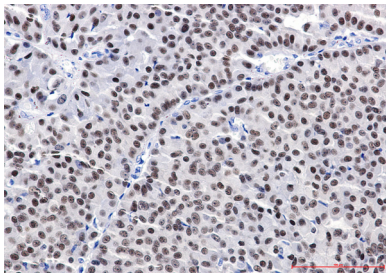
## 研究分野

シグナル伝達

## 画像データ



エストロゲン受容体  $\alpha$  抗体を用いた MCF-7 溶解物中のエストロゲン受容体  $\alpha$  のウエスタンブロット分析。



エストロゲン受容体アルファ抗体を使用したパラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。